

世界遺産都市を結ぶ「聖地の絆」

「聖地の絆 10 周年事業 ～高野山とルンビニ 10 年の架け橋～」

助成対象事業	姉妹・友好提携記念	文化・芸術・研究	青少年交流	国際会議	その他
日本：和歌山県高野町					
海外：ネパール ルンビニ					
【 事 例 紹 介 】					

1 交流の概要

和歌山県高野町とネパール・ルンビニは、「世界遺産都市の文化・観光交流協定」締結 10 周年を迎えました。本事業では、その節目を記念し、高野町での交流イベントの開催とルンビニへの訪問団派遣を実施しました。

高野山とルンビニは、ともに世界的な宗教・文化遺産を有する地域であり、本事業を通じて文化・宗教・教育・観光の各分野における交流を深めるとともに、将来を見据えた持続的な連携基盤の構築を目指しました。あわせて、インド・マハラシュトラ州との交流を通じ、新たな国際連携の可能性についても模索しました。

2 交流の背景とこれまでの経緯

高野町とルンビニは、世界遺産都市としての共通の価値を背景に、文化・観光交流を継続してきました。今回の 10 周年事業は、これまでの友好関係を振り返るとともに、次の 10 年に向けた新たな交流の枠組みを構築することを目的として実施されました。

また、高野町では文化交流だけでなく、住民同士の交流や教育分野での連携を重視しており、地域の国際化と国際理解の推進を図ってきました。

3 事業の内容

本事業は、「高野町・ネパールルンビニ DAY」の開催と、ルンビニへの訪問団派遣の二本柱で実施しました。

2025 年 9 月に開催した「高野町・ネパールルンビニ DAY」では、ネパール大使夫妻を迎え、和太鼓演奏やネパール伝統舞踊の披露、ネパール料理の提供、物産販売などを実施しました。小学校行事や町民運動会とも連携し、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる交流事業となりました。



さらに 2026 年 2 月には、高野町、高野町議会、総本山金剛峯寺、高野山大学、和歌山県などで構成する訪問団がルンビニ及びインド・マハラシュトラ州を訪問しました。現地では記念式典や法会、関係機関との協議を行うとともに、今後の交流の方向性について意見交換を行いました。



4 事業実施体制

本事業は、高野町を中心に、宗教・教育・行政機関が連携して実施されました。主な協力団体は以下のとおりです。

- 総本山金剛峯寺
- 高野山大学
- 和歌山県企画部国際課

特に、宗教機関や大学が参画したことで、文化交流にとどまらない教育・人的交流の発展につながりました。

5 事業の成果と評価

本事業では、地域住民参加型の国際交流と海外での記念事業を一体的に実施することで、交流の裾野を広げることができました。

高野町で開催した交流イベントでは、多くの町民がネパール文化に触れる機会を得ることとなり、国際交流を身近なものとして体感する場となりました。

また、ルンビニ訪問では、世界遺産マヤデビ寺院において特別読経を実施したほか、ルンビニ市との協議を通じて、両地域の友好を象徴する「蓮の相互植栽プロジェクト」の推進を確認しました。

さらに、高野山大学とルンビニ仏教大学との間で留学交流等に関する覚書が締結され、教育分野における継続的な人的交流の枠組みが構築されました。これは本事業を象徴する成果の一つとなっています。

インド・マハラシュトラ州では、州首相への表敬訪問やビジネス交流会への参加を通じて、文化・観光分野に加えて経済分野も含めた多角的な連携の可能性が共有されました。また、総本山金剛峯寺の僧侶による声明の披露を行い、日本の伝統文化や高野山の魅力を現地へ発信する機会となりました。これらの取組は、高野町の国際的な認知度向上にもつながる成果となりました。

6 今後の展望

高野町では、今回の取組を契機として、交流を記念事業中心の「行事型」から、教育・観光・人的交流を組み込んだ「事業型・政策型」の交流へと発展させていく方針です。

今後は、蓮の植栽事業を活用した観光振興や、大学間交流による学生・研究者の相互交流、世界遺産を活用した観光プロモーションなどを推進していく予定です。

また、地域住民が主体的に参加できる国際交流イベントを継続することで、国際交流を地域活性化

の取組として定着させ、文化・宗教・観光を結び付けた持続可能な交流を目指しています。



(作成年月：2026 年 9 月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。